

エイズ動向委員会	
第 157 回 (R3.8.24)	資料 15

第 157 回エイズ動向委員会

HIV 感染症に関する NDB 集計

(2021 年 8 月度)

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）

「HIV 感染症及びその併存疾患や関連医療費の実態把握のための研究」

奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 准教授 野田 龍也

- HIV 感染症に関する NDB 集計について

レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）は国民皆保険制度を有する我が国における保険診療の全数調査であり、生活保護の医療扶助や感染症法に基づく公費医療などを除く、1 億 2 千万人の医療受療状況のデータがほぼすべて格納されている。NDB は病院だけでなく診療所のデータも取得されており、適切な名寄せを行うことで、医療機関や都道府県をまたいだ受診を匿名のまま追跡することができる。このように NDB は既存の集計値にはない強み（全国悉皆性）を有するため、既存統計と補完的に用いることで精緻な実態把握が可能となる。

HIV 感染症の患者数等については、拠点病院調査や感染症法の届出などに基づく集計があり、長年活用されている。本集計は、NDB を用いて従来調査と同様の集計を並行的に行い、従来調査を裏打ちすることを目的としている。

本集計は HIV 感染症に関するさまざまな動向のうち、主要な 2 つの疫学指標（現在患者数（有病）、新規患者数（罹患））について NDB による集計を示し、解説を付したものである。

NDB には、患者数 10 人未満の数値（例：9 人、0 人）や、逆算により 10 人未満を算出できる数値（48 人－40 人＝8 人）を公表してはならないという規制がある（たとえば、上記の下線部は公表不可）。そのため、本集計においては、表中にて「<10」「40 名程度」「非表示」といったマスキング表記を施している。その他の留意点は、表の要点及び注釈に示した。

集計表一覧

- 表 1 抗 HIV 薬処方患者数(現在継続的に投薬を受けている患者数)(年齢階級別)
- 表 2 抗 HIV 薬処方患者数(現在継続的に投薬を受けている患者数)(都道府県別)
- 表 3 新規に投薬を開始された患者数(2019 年)(年齢階級別)
- 表 4 新規に投薬を開始された患者数(2019 年)(都道府県別、ウォッシュアウト期間別)
- 表 5 HIV 感染者 + エイズ患者(累積患者数)
- 付属表 抗 HIV 薬一覧(マスタ)

要点：表 1

● 表 1 抗 HIV 薬処方患者数（現在継続的に投薬を受けている患者数）
（年齢階級別）

HIV/AIDS 患者数について、エイズ動向委員会では調査開始時からの累積患者数が集計されているが、受診中断や死亡による脱落が織り込まれない点が課題である。本表は、全国悉皆の受診情報である NDB の特性を活かし、「現時点において受診している患者数」（現在継続的に投薬を受けている患者数）を算出したものである。なお、同一患者が複数医療機関や複数都道府県にまたがって受診した場合の名寄せは完了済みである。

NDB による現在通院患者数の把握方法としては、下記の A,B の両方の期間に抗 HIV 薬が処方されている患者とした：

- A) 2016 年（平成 28 年）12 月 1 日～2019 年（令和元年）11 月 30 日の 3 年間
- B) 2019 年（令和元年）12 月 1 日～2020 年（令和 2 年）3 月 31 日の 4 ヶ月間

過去の一定期間（期間 A）に抗 HIV 薬が処方され、直近（期間 B）にも抗 HIV 薬の処方がある場合を対象とすることにより、最近を受診していない患者や最近になって単発で処方を受けたのみの患者を除外している。

表における「追跡中の抗 HIV 薬処方患者」が現在通院患者数であり、2019 年 12 月～2020 年 3 月の 4 ヶ月間の時点で、通院して処方を受けている HIV/AIDS 患者は、全国で 23698 人（男性 22085 人、女性 1613 人）であった。また、年齢階級別では、全体、性別ともに 45～49 歳が最多であり、その前後は逡減している。

(表 1) 抗HIV薬処方患者数
(現在継続的に投薬を受けている患者数) (年齢階級別)

	NDBを用いた抗HIV薬処方患者数（現在継続的に投薬を受けている患者数）の集計（年齢階級別）								
	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数
	男			女			合計		
合計	22,085	40,879,870	54.0	1,613	48,668,705	3.3	23,698	89,548,575	26.5
0歳	<10	229,193	<10	<10	207,703	<10	<10	436,896	<10
1歳	<10	431,954	<10	<10	403,955	<10	<10	835,909	<10
2歳	<10	440,834	<10	<10	411,900	<10	<10	852,734	<10
3歳	<10	450,025	<10	<10	417,768	<10	<10	867,793	<10
4歳	<10	466,159	<10	<10	437,703	<10	<10	903,862	<10
5歳	<10	460,914	<10	<10	428,265	<10	<10	889,179	<10
6歳	<10	457,935	<10	<10	425,948	<10	<10	883,883	<10
7歳	<10	435,630	<10	<10	403,652	<10	<10	839,282	<10
8歳	<10	430,383	<10	<10	399,576	<10	<10	829,959	<10
9歳	<10	428,681	<10	<10	393,176	<10	<10	821,857	<10
10-14歳	<10	1,972,370	<10	<10	1,798,751	<10	<10	3,771,121	<10
15-19歳	<10	1,654,457	<10	<10	1,705,525	<10	<10	3,359,982	<10
20-24歳	231	1,420,231	16.3	20	1,848,891	1.1	251	3,269,122	7.7
25-29歳	986	1,525,860	64.6	32	2,069,198	1.5	1,018	3,595,058	28.3
30-34歳	1,981	1,739,130	113.9	72	2,318,793	3.1	2,053	4,057,923	50.6
35-39歳	2,730	1,996,413	136.7	167	2,573,565	6.5	2,897	4,569,978	63.4
40-44歳	3,646	2,350,946	155.1	246	2,860,767	8.6	3,892	5,211,713	74.7
45-49歳	4,191	2,764,760	151.6	331	3,232,852	10.2	4,522	5,997,612	75.4
50-54歳	3,020	2,610,591	115.7	252	2,971,621	8.5	3,272	5,582,212	58.6
55-59歳	1,938	2,604,652	74.4	181	2,823,339	6.4	2,119	5,427,991	39.0
60-64歳	1,180	2,673,360	44.1	111	2,855,464	3.9	1,291	5,528,824	23.4
65-69歳	1,061	3,167,907	33.5	76	3,463,127	2.2	1,137	6,631,034	17.1
70-74歳	658	3,508,829	18.8	57	4,003,199	1.4	715	7,512,028	9.5
75-79歳	284	2,826,773	10.0	41	3,522,067	1.2	325	6,348,840	5.1
80-84歳	122	2,030,318	6.0	14	2,842,483	0.5	136	4,872,801	2.8
85-89歳	40程度	1,223,946	3程度	<10	2,181,286	<10	46	3,405,232	1.4
90-94歳	<10	474,084	<10	<10	1,204,860	<10	<10	1,678,944	<10
95-99歳	<10	93,650	<10	<10	395,632	<10	<10	489,282	<10
100歳以上	<10	9,885	<10	<10	67,639	<10	<10	77,524	<10

●集計値10未満については「<10」としている。

●「2016年12月1日～2019年11月30日」と「2019年12月1日～2020年3月31日」の両方に抗HIV薬が処方された患者

●年齢は最後の医療保険使用時の年齢階級を使用。

●抗HIV薬は別表の奈良医大等で作成したマスタ（付属表）を使用した。

●10未満の患者数が逆算により求められないよう患者数を丸めて「程度」としている箇所がある。

要点：表 2

- 表 2 抗 HIV 薬処方患者数（現在継続的に投薬を受けている患者数）
（都道府県別）

本表は、現在継続的に投薬を受けている HIV/AIDS 患者を都道府県別に算出したものである。患者数の把握方法は表 1 と同様である。

なお、NDB における地域情報は「受診医療機関の住所地」（受診地）であり、患者住所地ではない点に注意が必要である。

表における「追跡中の抗 HIV 薬処方患者」が現在継続通院患者数であり、東京都の 9332 人が最多、大阪府の 3034 人がそれに次ぐ。

（表 2）抗HIV薬処方患者数
（現在継続的に投薬を受けている患者数）（都道府県別）

	NDBを用いた抗HIV薬処方患者数（現在継続的に投薬を受けている患者数）の集計（都道府県別）								
	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数
	男			女			合計		
全国	22,085	40,879,870	54.0	1,613	48,668,705	3.3	23,698	89,548,575	26.5
北海道	434	1,595,655	27.2	20	2,005,496	1.0	454	3,601,151	12.6
青森県	80程度	393,707	20程度	<10	501,940	<10	78	895,647	8.7
岩手県	40程度	393,495	10程度	<10	477,672	<10	40	871,167	4.6
宮城県	206	747,846	27.5	17	884,185	1.9	223	1,632,031	13.7
秋田県	40程度	323,458	12程度	<10	404,848	<10	42	728,306	5.8
山形県	40程度	366,919	10程度	<10	441,277	<10	38	808,196	4.7
福島県	67	629,333	10.6	12	721,586	1.7	79	1,350,919	5.8
茨城県	258	915,930	28.2	55	1,037,536	5.3	313	1,953,466	16.0
栃木県	249	660,821	37.7	49	752,712	6.5	298	1,413,533	21.1
群馬県	179	652,526	27.4	26	759,290	3.4	205	1,411,816	14.5
埼玉県	416	2,172,098	19.2	46	2,515,438	1.8	462	4,687,536	9.9
千葉県	602	1,903,348	31.6	116	2,215,916	5.2	718	4,119,264	17.4
東京都	8,824	4,863,017	181.5	508	5,667,701	9.0	9,332	10,530,718	88.6
神奈川県	1,257	2,913,440	43.1	137	3,390,239	4.0	1,394	6,303,679	22.1
新潟県	97	734,072	13.2	15	873,468	1.7	112	1,607,540	7.0
富山県	60程度	347,203	17程度	<10	415,088	<10	64	762,291	8.4
石川県	105	370,593	28.3	10	443,639	2.3	115	814,232	14.1
福井県	50程度	256,559	19程度	<10	301,291	<10	54	557,850	9.7
山梨県	53	267,286	19.8	18	313,936	5.7	71	581,222	12.2
長野県	197	688,480	28.6	65	808,276	8.0	262	1,496,756	17.5
岐阜県	130程度	654,284	19程度	<10	776,333	<10	141	1,430,617	9.9
静岡県	337	1,223,683	27.5	44	1,409,495	3.1	381	2,633,178	14.5
愛知県	1,274	2,518,508	50.6	106	2,849,817	3.7	1,380	5,368,325	25.7
三重県	120	593,891	20.2	25	694,147	3.6	145	1,288,038	11.3
滋賀県	115	448,567	25.6	11	519,189	2.1	126	967,756	13.0
京都府	351	787,121	44.6	18	969,043	1.9	369	1,756,164	21.0
大阪府	2,942	2,766,606	106.3	92	3,391,265	2.7	3,034	6,157,871	49.3
兵庫県	578	1,734,285	33.3	30	2,147,431	1.4	608	3,881,716	15.7
奈良県	135	428,153	31.5	15	531,808	2.8	150	959,961	15.6
和歌山県	70程度	316,424	22程度	<10	392,212	<10	75	708,636	10.6
鳥取県	30程度	187,019	16程度	<10	227,609	<10	34	414,628	8.2
島根県	20程度	226,435	8程度	<10	273,042	<10	22	499,477	4.4
岡山県	210	623,220	33.7	14	747,591	1.9	224	1,370,811	16.3
広島県	276	928,872	29.7	13	1,100,654	1.2	289	2,029,526	14.2
山口県	80程度	444,851	17程度	<10	545,437	<10	81	990,288	8.2
徳島県	50程度	243,477	20程度	<10	296,380	<10	53	539,857	9.8
香川県	100程度	325,113	30程度	<10	387,364	<10	102	712,477	14.3
愛媛県	120程度	442,444	27程度	<10	545,602	<10	122	988,046	12.3
高知県	70程度	223,268	31程度	<10	280,927	<10	71	504,195	14.1
福岡県	859	1,598,122	53.8	44	1,991,943	2.2	903	3,590,065	25.2
佐賀県	40程度	271,522	14程度	<10	336,476	<10	41	607,998	6.7
長崎県	90程度	429,883	20程度	<10	539,840	<10	98	969,723	10.1
熊本県	180程度	577,459	31程度	<10	714,717	<10	183	1,292,176	14.2
大分県	70程度	377,560	18程度	<10	460,693	<10	75	838,253	8.9
宮崎県	110程度	358,711	30程度	<10	444,569	<10	111	803,280	13.8
鹿児島県	140程度	522,655	26程度	<10	650,670	<10	148	1,173,325	12.6
沖縄県	360	431,951	83.3	18	512,917	3.5	378	944,868	40.0

- 都道府県は受診医療機関住所地（受診地）
- 抗HIV薬は別表の奈良医大等で作成したマスタを使用した（付属表）。
- 「2016年12月1日～2019年11月30日」と「2019年12月1日～2020年3月31日」の両方にレセプトが発生した患者のうち、抗HIV薬が処方された患者。
- 集計値10未満については「<10」としている。
- 10未満の患者数が逆算により求められないよう患者数を丸めて「程度」としている箇所がある。

要点：表 3

● 表 3 新規に投薬を開始された患者数（2019 年）（年齢階級別）

2019 年（平成 31 年）1 月～12 月の 1 年間に、新規に抗 HIV 薬の処方を受けた患者数を示した。NDB による集計値と同期間中の感染症法による届出数を併記している。

データベースにおける新規受診の把握は、「一定期間（ウォッシュアウト期間；今回は 5 年 9 ヶ月間）、抗 HIV 薬の処方を受けず、集計対象期間の 1 年間（2019 年）になって抗 HIV 薬を処方された患者」とした。この定義では、過去に抗 HIV 薬の処方を受けていた患者が 5 年 9 ヶ月以上ぶりに処方を再開された場合は新規患者に誤分類されるが、その数は少ないという臨床的な前提を置いている（表 4 で検証）。なお、本集計では新規に HIV/AIDS と診断されたが抗 HIV 薬の処方を受けずに経過観察とされた患者は集計されない点に注意が必要である。また、NDB は感染経路や感染地域の情報を持たない。

NDB で集計した新規処方開始者（新規患者）数は 1905 人であり、感染症法による届出数 1236 人に比べ、1.5 倍であった。年齢階級別の集計では、NDB 集計と感染症法届出との乖離は 1.2～1.9 倍であった。

(表 3) 新規に投薬を開始された患者数
(2019年) (年齢階級別)

NDB	NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数（新規） 〔平成31年（2019年）1月1日～令和元年（2019年）12月31日〕 H I V感染者及びエイズ患者の性別、年齢別集計
感染症法	感染症法に基づくH I V感染者・エイズ患者情報 〔平成31年（2019年）1月1日～令和元年（2019年）12月31日〕 H I V感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別、年齢別、感染地域別報告数

診断区分				
		NDBによる患者数	感染症法の届出数	NDBによる患者数/ 感染症法の届出数
合計		1,905	1,236	1.5
感染経路	異性間の性的接触	・	192	・
	同性間の性的接触※ 1	・	831	・
	静注薬物使用	・	3	・
	母子感染	・	1	・
	その他※ 2	・	62	・
	不明	・	147	・
年齢	1 0 歳未満	<10	1	非表示
	1 0 ～ 1 9 歳	<10	13	非表示
	2 0 ～ 2 9 歳	395	342	1.2
	3 0 ～ 3 9 歳	599	366	1.6
	4 0 ～ 4 9 歳	516	294	1.8
	5 0 ～ 5 9 歳	250	141	1.8
	6 0 ～ 6 9 歳	98	59	1.7
	7 0 歳以上	36	19	1.9
	不明	<10	1	非表示
性	男	1,789	1,175	1.5
	女	116	61	1.9
感染地域	国内	・	974	・
	海外	・	102	・
	不明	・	160	・

- 年齢は最終受診時の年齢
- NDB：2019年1月～12月の1年間の新規に投薬を開始された患者及び抗HIV薬の長期中断後処方再開患者の合計
2013年4月 1 日から2018年12月31日の5年9ヶ月間に抗HIV薬を処方されていないかつ
2019年1月 1 日から2019年12月31日の1年間に抗HIV薬の処方があった患者。
- 新規に投薬を開始された患者のほか、2013年4月以前に処方があった後、長期中断後に抗HIV薬の処方を再開した者を含む。
- 抗HIV薬は別表の奈良医大等で作成したマスタ（付属表）を使用した。
- 集計値10未満については「<10」としている。
- その他のマスキング対象箇所については「非表示」としている。
- 「・」はNDBからは集計困難な項目。

※1 両性間性的接触を含む。
※2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

要点：表 4

- 表 4 新規に投薬を開始された患者数（2019 年）（都道府県別、ウォッシュアウト期間別）

2019 年（平成 31 年）1 月～12 月の 1 年間に、新規に抗 HIV 薬の処方を受けた患者数を都道府県別に示した。NDB による集計値と同期間中の感染症法による届出数を併記している。なお、NDB における地域情報は「受診医療機関の住所地」（受診地）であり、患者住所地ではない。「新規処方」の定義は表 3 と同様である。

抗 HIV 薬の処方が行われていない期間（集計上のウォッシュアウト期間）の設定による患者数の変化を確認するため、ウォッシュアウト期間を変化させた場合の集計結果を参考値として†の欄に示した。

NDB で集計した新規処方開始者（新規患者）数がもっとも多かったのは東京都の 698 人であり、大阪府の 218 人が続いた。都道府県別に見ても、感染症法届出数との比率は類似の傾向が示された。

ウォッシュアウト期間が長いほど NDB による集計数が減少しており、ウォッシュアウト期間を長くとることにより、長期受診中断後の処方再開例を新規患者集計から多く除外できることを示している（誤分類の減少）。

（表４）新規に投薬を開始された患者数
（２０１９年）（都道府県別、ウォッシュアウト期間別）

NDB	NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数（新規） 〔平成31年（2019年）1月1日～令和元年（2019年）12月31日〕 H I V感染者及びエイズ患者の性別、年齢別集計の合計値
感染症法	感染症法に基づくH I V感染者・エイズ患者情報 〔平成31年（2019年）1月1日～令和元年（2019年）12月31日〕 H I V感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別、年齢別、感染地域別報告数

HIV感染者＋エイズ患者

	感染症法の届出数 （2019年）	NDBによる患者数 （2019年）	†	†	†	†
			NDBによる患者数 （2018年）	NDBによる患者数 （2017年）	NDBによる患者数 （2016年）	NDBによる患者数 （2015年）
ウォッシュアウト期間	-	5年	4年	3年	2年	1年
合計	1236	1905	1963	2186	2274	2336
北海道	39	43	41	48	52	47
青森県	3	<10	<10	<10	<10	<10
岩手県	1	<10	<10	<10	<10	<10
宮城県	16	20	<10	17	21	22
秋田県	2	<10	<10	<10	<10	<10
山形県	4	<10	<10	<10	<10	<10
福島県	9	<10	12	<10	<10	<10
茨城県	6	24	25	20	29	34
栃木県	15	21	30	20	28	28
群馬県	17	21	19	21	25	16
埼玉県	46	40	32	43	57	50
千葉県	41	73	71	88	70	81
東京都	406	698	698	805	855	848
神奈川県	71	127	122	141	114	145
新潟県	8	12	11	<10	<10	10
富山県	6	<10	<10	<10	<10	<10
石川県	3	<10	<10	<10	11	13
福井県	0	<10	<10	<10	<10	<10
山梨県	3	<10	<10	<10	<10	10
長野県	10	17	19	21	<10	13
岐阜県	14	12	18	16	14	18
静岡県	21	24	36	37	32	40
愛知県	95	117	127	120	149	117
三重県	8	17	17	19	21	10
滋賀県	12	16	10	13	14	10
京都府	16	32	40	30	35	30
大阪府	140	218	245	285	293	335
兵庫県	25	48	48	71	59	63
奈良県	7	<10	<10	<10	11	20
和歌山県	1	<10	<10	<10	<10	<10
鳥取県	4	<10	<10	<10	<10	<10
島根県	2	<10	<10	<10	<10	<10
岡山県	10	15	22	26	21	26
広島県	15	22	22	25	24	23
山口県	3	<10	<10	10	<10	<10
徳島県	4	<10	<10	<10	<10	<10
香川県	7	10	12	11	<10	18
愛媛県	6	<10	<10	<10	14	13
高知県	1	<10	<10	<10	<10	19
福岡県	73	83	92	96	115	103
佐賀県	7	10	<10	<10	<10	<10
長崎県	7	15	<10	<10	12	10
熊本県	7	17	16	24	30	17
大分県	8	10	12	<10	<10	<10
宮崎県	5	<10	13	16	<10	16
鹿児島県	13	19	16	15	17	<10
沖縄県	19	38	31	31	33	52

- 都道府県は受診医療機関住所地（受診地）
- 年齢は最終受診時の年齢。
- NDB：2019年1月～12月の1年間の新規に投薬を開始された患者及び抗HIV薬の長期中断後処方再開患者の合計
2013年4月1日から2018年12月31日の5年9ヶ月間に抗HIV薬を処方されていないかつ
2019年1月1日から2019年12月31日の1年間に抗HIV薬の処方があった患者。
- 新規に投薬を開始された患者のほか、ウォッシュアウト期間中に処方が行われず、その後、抗HIV薬の処方を再開した者を含む。
- ウォッシュアウト期間：NDB上で新規処方を把握するために設定された無処方期間。
- 抗HIV薬は別表の奈良医大等で作成したマスタ（付属表）を使用した。
- 集計値10未満については「<10」としている。

† はウォッシュアウト期間が短いため、処方再開患者を一定数含んでおり、参考値。

要点：表 5

● 表 5 HIV 感染者 + エイズ患者（累積患者数）

本表は HIV/AIDS 患者の累積患者数及びその感染経路に関する集計である。表の右半分は、感染症法や旧エイズ予防法に基づく届出による既存集計である。

NDB による集計は、2013 年（平成 25 年）4 月 1 日～2019 年（令和元年）12 月 31 日の 6 年 9 ヶ月間に抗 HIV 薬の処方を受けた累積患者数である。NDB には感染経路に関する情報が収載されていないため、全体の患者数以外のほぼすべての箇所が不明（「・」）となっている。

NDB 集計による累積患者数（6 年 9 ヶ月間）は、合計で 29354 人となり、感染症法届出の累積患者数 31368 人に近い集計値であった。

(表 5) HIV感染者＋エイズ患者（累積患者数）

		NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数情報 令和元年（2019年）12月31日現在のH I V感染者 及びエイズ患者の性別患者数									感染症法に基づくH I V感染者・エイズ患者情報 平成元年（2019年）12月31日現在のH I V感染者 及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計								
診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計			日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H I V 感 染 者	合計	・	・	・	・	・	・	・	・	・	17,197	1,024	18,221	2,008	1,498	3,506	19,205	2,522	21,727
	異性間の性的接触	・	・	・	・	・	・	・	・	・	3,199	831	4,030	496	883	1,379	3,695	1,714	5,409
	同性間の性的接触※ 1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	12,208	4	12,212	919	1	920	13,127	5	13,132
	静注薬物使用	・	・	・	・	・	・	・	・	・	43	2	45	31	3	34	74	5	79
	母子感染	・	・	・	・	・	・	・	・	・	17	10	27	7	9	16	24	19	43
	その他※ 2	・	・	・	・	・	・	・	・	・	377	41	418	80	33	113	457	74	531
	不明	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1,353	136	1,489	475	569	1,044	1,828	705	2,533
エ イ ズ 患 者	合計※ 3	・	・	・	・	・	・	・	・	・	7,797	422	8,219	991	431	1,422	8,788	853	9,641
	異性間の性的接触	・	・	・	・	・	・	・	・	・	2,353	277	2,630	319	237	556	2,672	514	3,186
	同性間の性的接触※ 1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	3,850	3	3,853	208	2	210	4,058	5	4,063
	静注薬物使用	・	・	・	・	・	・	・	・	・	30	4	34	28	3	31	58	7	65
	母子感染	・	・	・	・	・	・	・	・	・	10	3	13	1	6	7	11	9	20
	その他※ 2	・	・	・	・	・	・	・	・	・	235	26	261	34	17	51	269	43	312
	不明	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1,319	109	1,428	401	166	567	1,720	275	1,995
H I V 感染者+エイズ患者 合計		・	・	・	・	・	・	27,187	2,167	29,354	24,994	1,446	26,440	2,999	1,929	4,928	27,993	3,375	31,368
凝固因子製剤による感染者※ 4		・	・	・	・	・	・	・	・	・	1,422	18	1,440	－	－	－	1,422	18	1,440

- 感染症法の太枠は、**2019年12月31日**の時点でのHIV感染者＋エイズ患者の累計。
- 2013年4月1日～2019年12月31日**にレセプトが発生し抗HIV薬が処方された患者。
- 抗HIV薬は別表の奈良医大等で作成したマスタ(付属表)を使用した。
- 「・」はNDBからは集計困難な項目。

※ 1 両性間性的接触を含む。

※ 2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

※ 3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

※ 4 「血液凝固異常症全国調査」による2019年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

※死亡者報告数	
感染症法施行後の任意報告数	
(平成11年（1999年）4月1日～平成30年（2018年）12月30日）	440 名
エイズ予防法※ 5 に基づく法定報告数	
(平成元年（1989年）2月17日～平成11年（1999年）3月31日）	596 名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数※ 6	720 名

※ 5 エイズ予防法第 5 条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

※ 6 「血液凝固異常症全国調査」による2019年5月31日現在の報告数

要点：付属表

- 付属表 抗 HIV 薬一覧（マスタ）

本集計では、HIV/AIDS 患者の定義として、「抗 HIV 薬の処方を受けている患者」を採用した。一般的には抗 HIV 薬は HIV 感染症以外には使用されないと考えられており、また、抗 HIV 薬を処方して診療報酬請求を行わない例があるとも考えにくいためである。ただし、HIV の感染が確認されつつ抗 HIV 薬の処方を受けていない患者（経過観察等）は集計から除外されている点は留意が必要である。

なお、2020 年 1 月以降、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対して抗 HIV 剤であるロピナビル／リトナビル配合剤（カレトラ）が処方されている影響で、NDB を用いたこの期間の HIV/AIDS 患者数が過大に集計されることが想定される。本集計はこの事象の影響を受けていないが、今後留意が必要である。

（付属表） 抗HIV薬一覧（マスタ）

医薬品コード	HIV薬名称	略名	一般名	作用機序	1錠あたりの含量	配合剤
620005140	レトロビルカプセル1 0 0 m g	AZT(ZDV)	ジドブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	100	0
610443081	ヴァイデックス E Cカプセル1 2 5 1 2 5 m g	ddL	ジダノシン	核酸系逆転写酵素阻害剤	125	0
610443082	ヴァイデックス E Cカプセル2 0 0 2 0 0 m g	ddL	ジダノシン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
620000425	エビビル錠1 5 0 1 5 0 m g	3TC_150mg	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	150	0
620000426	エビビル錠3 0 0 3 0 0 m g	3TC_300mg	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0
610412192	ゼリットカプセル1 5 1 5 m g	d4T	サニルブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	15	0
610412193	ゼリットカプセル2 0 2 0 m g	d4T	サニルブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	20	0
621144201	コンビビル配合錠	COM	ジドブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
621144201	コンビビル配合錠	COM	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	150	1
620004998	ザイアジェン錠3 0 0 m g	ABC	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0
620001903	ビリアード錠3 0 0 m g	TDF	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0
621657001	エブジコム配合錠	EZC	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	600	1
621657001	エブジコム配合錠	EZC	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
620002488	エムトリバカプセル2 0 0 m g	FTC	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
621662301	ソルバダ配合錠	TVD	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
621662301	ソルバダ配合錠	TVD	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
610421341	ピラミューン錠2 0 0 2 0 0 m g	NVP	ネビラピン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
620006943	ストックリン錠6 0 0 m g	EFV	エファビレンツ	非核酸系逆転写酵素阻害剤	600	0
621932401	ストックリン錠2 0 0 m g	EFV	エファビレンツ	非核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
620009086	インテレンス錠1 0 0 m g	ETR	エトラピリン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	100	0
622149101	エジュラント錠2 5 m g	RPV	リルビピリン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	25	0
622388001	コムプレラ配合錠	CMP	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622388001	コムプレラ配合錠	CMP	リルビピリン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	25	1
622388001	コムプレラ配合錠	CMP	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
620004975	クリキシバンカプセル2 0 0 m g	IDV	硫酸インジナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0
620003516	インビラーゼカプセル2 0 0 m g	SQV	メシル酸サキナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0
620004347	インビラーゼ錠5 0 0 m g	SQV	メシル酸サキナビル	プロテアーゼ阻害薬	500	0
621143701	ピラセプト錠2 5 0 m g	NFV	メシル酸ネルフィナビル	プロテアーゼ阻害薬	250	0
621143601	ノービア内用液8 % 8 0 m g	RTV	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	80	0
622054801	ノービア錠1 0 0 m g	RTV	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	100	0
621384201	カレトラ配合内用液	LPV/r	ロビナビル	プロテアーゼ阻害薬	80mg/mL	1
621384201	カレトラ配合内用液	LPV/r	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	20mg/mL	1
621765701	カレトラ配合錠	LPV/r	ロビナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	1
621765701	カレトラ配合錠	LPV/r	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	5	1
620000454	レイアタッツカプセル1 5 0 m g		硫酸アタザナビル	プロテアーゼ阻害薬	150	0
620000455	レイアタッツカプセル2 0 0 m g	ATV	硫酸アタザナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0
620002465	レクシヴァ錠7 0 0 7 0 0 m g	FPV	ホスアンプレナビルカルシウム水和物	プロテアーゼ阻害薬	700	0
620005884	プリジスタ錠3 0 0 m g	DRV	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	300	0
622276701	プリジスタナイーブ錠8 0 0 m g	DRVN	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	800	0
622403501	プリジスタ錠6 0 0 m g	DRV	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	600	0
620007815	アイセントレス錠4 0 0 m g	RAL	ラルテグラビルカリウム	インテグラーゼ阻害薬	400	0
622235801	スタリビルド配合錠	STB	エルテグラビル	インテグラーゼ阻害薬	150	1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	コビススタット	CYP3A阻害薬	150	1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
622336201	テビケイ錠5 0 m g	DTG	ドルテグラビルナトリウム	インテグラーゼ阻害薬	50	0
622408801	トリーメク配合錠	TRI	ドルテグラビルナトリウム	インテグラーゼ阻害薬	50	
622408801	トリーメク配合錠	TRI	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	600	1
622408801	トリーメク配合錠	TRI	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
620009087	シーエルセントリ錠1 5 0 m g	MVC	マラビロク	CCR5阻害薬	150	0
621930301	プリジスタナイーブ錠4 0 0 m g	DRVN	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	400	0
622522601	デシコビ配合錠LT	DVY-LT	テノホビルアラフェナミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	10	1
622522601	デシコビ配合錠LT	DVY-LT	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622522501	デシコビ配合錠HT	DVY-HT	テノホビルアラフェナミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	25	1
622522501	デシコビ配合錠HT	DVY-HT	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622532301	プレジコビックス配合錠	PCX	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	800	1
622532301	プレジコビックス配合錠	PCX	コビススタット	CYP3A阻害薬	150	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	エルテグラビル	インテグラーゼ阻害薬	150	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	コビススタット	CYP3A阻害薬	150	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	フマル酸テノホビルアラフェラミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	10	1
610409330	ハイビッド錠0 . 3 7 5	ddC	ザルシタビン	2008年3月販売中止	0.375	0
610432038	ノービア・ソフトカプセル1 0 0 m g	RTV	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	100	0
622626001	アイセントレス錠6 0 0 m g	RAL	ラルテグラビル	インテグラーゼ阻害薬	600	0
622647301	オデフシィ配合錠	RPV/TAF/FTC	リルビピリン/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩/ エムトリシタビン配	NNRTI/NRTI配合剤	25mg/25mg/200mg	1
622660701	ジャルカ配合錠	DTG/RPV	ドルテグラビル/ リルビピリン配合剤	INSTI/NNRTI	50mg/25mg	1
622702901	ドウベイト配合錠		ドルテグラビルナトリウム/ラミブジン	インテグラーゼ阻害薬/核酸系逆転写酵素阻害剤	50mg/300mg	1
622660501	ビクタルビ配合錠	BIC/TAF/FTC	ビクテグラビル/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩/ エムトリシタビン	INSTI/NRTI配合剤	50mg/25mg/200mg	1
622702801	ピフェルトロ錠1 0 0 mg		ドラビリン	NNRTI	100mg	0
622699101	ラバミコム配合錠「アメル」		ラミブジン/ アバカビル硫酸塩	核酸系逆転写酵素阻害剤/核酸系逆転写酵素阻害剤	300mg/600mg	1
622683501	シムツーザ配合錠		ダルナビル エタノール付加物/コビススタット/エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩配合錠	プロテアーゼ阻害薬/CYP3A阻害薬/核酸系逆転写酵素阻害剤/核酸系逆転写酵素阻害剤	800mg/150mg/200mg/10mg	1

●上記の薬剤を1回以上処方された患者をHIV感染症患者として集計した。